

## 座光寺 19地区探訪⑪ 恒川／清水[2]



対岸から望む。写真下段の中央部が恒川・清水地区



恒川清水(ごんがしみず)周辺で行われていた祭祀のイメージ

# 座光寺一使

信州飯田

● 麻績の里

2017.4  
No.23  
恒川・清水(2)

座光寺エリア

恒川・清水  
世帯数: 恒川 90・清水 44  
(H28.12.1現在)

恒川(ごんがわ)・清水(しみず)両地区は、平成26年3月に国の史跡に指定された「恒川官衙(ごんがまんが)遺跡」の一部にあたっています。同史跡は奈良から平安時代にかけての古代国家の実態を知る上で重要な遺跡とされ、特にそのシンボル的な区域が、今後史跡公園として整備されます。

恒川・清水地区は次ページの地図が示すように、公園整備計画の中心部に位置しています。そこで今回は、史跡公園整備にかけた基本方針やその概要についてご紹介します。

麻績の里

座光寺便

恒川・清水(2)

号

平成29年4月

発行

■

麻績の里ふるさと応援俱楽部

(飯田市役所座光寺自治振興センター内)

長野県飯田市座光寺2535

TEL 0265-22-1401

FAX 0265-22-1475

E-mail:zakouji@city.iida.nagano.jp

お申込み締切 平成29年5月10日

お届け時期 平成29年5月中頃

※代金は商品到着後にお支払いください。

お申込み先

座光寺自治振興センター内

麻績の里ふるさと応援俱楽部

(TEL.0265-22-1401・FAX.0265-22-1475)

E-mail:zakouji@city.iida.nagano.jp

お申込み締切 平成29年5月10日

お届け時期 平成29年5月中頃

※代金は商品到着後にお支払いください。



ふるさとパック  
春の味覚満載便  
2,000円(送料別)



麻績の里 ● 座光寺便からのお知らせ

ご存じですか

東京渋谷 キャットストリート

平成22年3月、座光寺自治会は東京都渋谷区との交流事業として、同区の表参道に近い通りの一角に、りんごの植樹を行いました。

この通りは「キャットストリート」と呼ばれています。名前の由来には、「猫の額のように狭い通りだから」「猫が多いから」「ブラックキャットという音楽バンドが生まれた土地だから」など諸説があります。

ここは昭和40年ころまで、渋谷川という小川が流れていました。それが暗渠化され、キャットストリートはその上に造られたのです。

大正元年に発表された文部省唱歌「春の小川」は、この川がモデルになっています。おしゃれなブティックや飲食店が並ぶいまの姿からは想像もできませんが、かつてはスミレやレンゲが咲き、メダカや小鮎が泳いでいたのでしょうかね。

この歌の作詞は、長野県



中野市出身の国文学者、高野辰之です。高野はこのほか、「故郷」「おぼろ月夜」「もみじ」「春がきた」などの木を眺め、さらさら流れていた小川に思いを馳せ、これから渋谷区との「りんご交流」を想像してみてください。

このように見えてくると、キャットストリートは長野県とともに関わりが深いことがわかります。東京にお出かけの際はキャットストリートに立ち寄り、自治会で植樹したりんごの木を眺め、さらさら流れていた小川に思いを馳せ、これから渋谷区との「りん



お申込み先 座光寺自治振興センター内

麻績の里ふるさと応援俱楽部

(TEL.0265-22-1401・FAX.0265-22-1475)

E-mail:zakouji@city.iida.nagano.jp

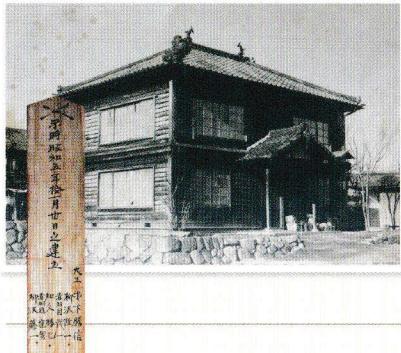
お申込み締切 平成29年5月10日

お届け時期 平成29年5月中頃

※代金は商品到着後にお支払いください。

## [恒川 清水] 会所の変遷

### 旧3区会所



昭和5年11月30日竣工。  
長年にわたり旧3区(欠野、中市場、恒川、清水、  
高岡、河原)の活動拠点  
となりました。



### 現在の会所



弘法大師像

蚕玉大明神

釈迦如来像

史跡公園整備については、次の七項目が基  
本方針となっています。

- ①史跡の保存継承を前提にした整備活用を行う
- ②史跡の存在と価値を情報発信する
- ③地域を知る学びの場として整備・活用する
- ④住民・市民等の憩い交流の場として整備・活用する
- ⑤ひどつくりまちづくりの場となるよう整備・活用する
- ⑥史跡周辺の歴史文化資産と体化した整備活用を図る
- ⑦地域から日本史を俯瞰できる場となるよう活用する

### 「2000年浪漫の郷」づくり

座光寺地域では、歴史・文化の保存継承と  
活用に向けて「2000年浪漫の郷」づくり  
が始動しました。これは座光寺  
に数ある歴史文化や景観など  
を活かし、市民の憩いの場や都  
市との交流と学習の拠点となる  
よう活動することを目的  
にしています。

当地方の中心地として  
重要な場であった座光  
寺。2千年の時を隔て、遙  
か昔のロマンをこの地に再  
現する取り組みが、恒  
川・清水地区から始まろ  
うとしています。

正倉の復元イメージ



## 歩けば！が見えてくる 座光寺19地区探訪⑪ 恒川・清水[2]

### 公園整備の方針

計画では、地図中の正倉院エリア(A1地  
区)と清水エリア(A4地区)が公園整備の対  
象地域となっています。

A1地区は正倉院などの建物を復元し、地下  
遺構についての表示や広場などの整備が挙が  
っています。A4地区の恒川清水では、水を湛  
えた景観の復元整備と集会所の移転検討が  
記されています。

さらに地図中の「ガイダンスエリア」は、説  
明パネルや出土遺物などの展示、映像等によ  
る史跡と周辺歴史文化資産の紹介機能の整  
備が挙げられています。

恒川官衙遺跡は、古代伊那郡を治めていた  
郡役所(伊那郡衙)に関連する遺構・遺物が  
分布しています。郡役所が造られた背景とし  
て、①災害が少なく広い平坦面の地形②豊富  
な地下水③古墳時代後期ヤマト王権の影響  
下にあった④内陸交通の要衝に位置していた  
等の自然・歴史条件が挙げられます。

史跡の遺構・遺物から、郡衙の構造や地方  
支配の実態を知ることができます。恒川清水(ご  
んがしみず)からは、祭祀空間の様子と移り  
変わりが明らかになると期待されています。

### 恒川官衙遺跡